

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公開番号】特開 2005-7182 (P2005-7182A)

【公開日】平成 17 年 1 月 13 日 (2005.1.13)

【年通号数】公開・登録公報 2005-002

【出願番号】特願 2004-180418 (P2004-180418)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

G 2 1 K 5/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 2 0 D

A 6 1 B 6/03 3 4 7

G 2 1 K 5/02 X

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 11 日 (2007.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

しかしながら、回転中、円錐角がより大きな範囲に到達する場合に、システムに影響を与えるイメージアーチファクトが発生する。これらのアーチファクトを排除するために様々な再構成スキームが考案されてきたが、これらスキームでは、X 線源を患者の周りで回転させながら、X 線源の位置を「z」方向に沿って高速で変化させる必要がある。現在の X 線管は、この性能を有していない。

【特許文献 1】米国特許第 5 2 1 8 6 2 4 号